

# 「ワンデーポート通信」 第262号 2022.6

ギャンブルの問題がある人のための  
ケアセンター

＜発行＞ 認定NPO法人ワンデーポート  
〒246-0013 横浜市瀬谷区相沢4-10-1  
クボタハイツ101

HP <http://www5f.biglobe.ne.jp/~onedayport/>

TEL: 045-303-2621

E-mail [oneday.yokohama@knd.biglobe.ne.jp](mailto:oneday.yokohama@knd.biglobe.ne.jp)

FAX: 045-303-2629

ワンデーポートは設立以来20年を超えて真摯に活動を続けてきました。これまでの活動をしっかり振り返り、現在のギャンブル依存に関する施策に対して一石を投じることのできるような書籍が出来上がりました。ぜひ皆様にご一読いただき、ご意見やご感想などお寄せいただければ幸いです（稲村厚）。

## 誤解だらけの ギャンブル 依存症

当事者に向き合う支援のすすめ

認定NPO法人 ワンデーポート ■  
中村努 / 高澤和彦 / 稲村厚 ■

「ギャンブル依存症」という  
共通の病気があるわけではない。  
問題の背景は個別で多様!

目の前の現象に惑わされず、生活歴・成育歴・家族歴などから複合的な背景を見つめ、楽しみも取り入れながら個別的・長期的な人生支援を提案。  
彩流社

### 《出版記念セミナーのお知らせ》

テーマ：当事者に向き合う支援のすすめ

日時：2022年7月18日（月）13時30分～16時30分

会場：遊技会館・3階会議室（東京都新宿区左内町8番地）

JR線・地下鉄線「市ヶ谷駅」から徒歩約5分

オンライン参加による参加も可能です

参加費：1,000円

講師：中村努、高澤和彦、稲村厚、ほかゲスト

参加申し込み：ネットからの申し込みになります。詳細は、近日中にワンデーポートのホームページにUPします。コロナ感染対策のため参加人数上限を30名といたします。

問合せ：ワンデーポートまで

## 『誤解だらけのギャンブル「依存症」～当事者に向き合う支援のすすめ～』 出版にあたって

6月15日に彩流社より『誤解だらけのギャンブル「依存症」～当事者に向き合う支援のすすめ～』が出版されます。

第1章は私が担当しました。ワンダーポートの22年、そのときどきの課題にどのように向きあい、利用者の皆さんから学びながら歩んできたか記しました。

第2章では、稲村と高澤、私3名での事例を紹介し、それぞれの立場から必要な個別支援を伝えています。

3章はワンダーポートの活動に協力してもらってきた専門家5名と中村との対談が収録されています。対談をお願いしたのは、2008年からお世話になっている新泉ころのクリニックの朝倉新さん。発達障害、自閉症についてたくさんのことを教えていただいている今井忠さん。ワンダーポートの活動の土台を支えていただいている不動産業を経営する小野寺正夫さん。社会福祉職で、ワンダーポートの運営委員を開設直後から務めてくださっている大橋俊弘さん。ワンダーポートの開設準備から関わってもらい、ワンダーポートの変化と一緒に見てきた東海大学准教授の宮永耕さん。多職種の皆様のお話は、ギャンブルの問題を持つ人に必要な支援だけでなく、今社会に伝わっているギャンブル依存症の知識の問題点を伝える内容になっています。

さらには、諏訪東京理科大学教授で脳科学者の篠原菊紀先生の特別寄稿も収められています。

### 出版まで経緯

ワンダーポートでは、2012年に明石書店から『ギャンブル依存との向きあい方～一人ひとりにあわせた支援で平穏な暮らしを取り戻す』を出版しました。2012年と言えば、利用者の皆さんと被災地にボランティアに行ったり、つくば100キロウォーク参加をきっかけに、運動の効用に気付いた年です。日本自閉症協会の年次大会での加藤潔さん(当時札幌市発達障害者支援センター所長)の話からヒントをもらい「暮らし、仕事、余暇の」視点を支援の柱に据えたのも2012年でした。2012年の気付きと変化は、明石書店から出版した本に記すことができませんでした。

その後、ギャンブル等依存問題が国策になったことでの影響も受けるようになりました。その中で私たちがどのように対峙しているかなど、2012年以降の出来事や気付きを含めて、本にして社会に伝えなくてはいけないという思いが次第に膨らんでいたように思います。理事長の稲村さんは、ワンダーポートの20周年記念としての本の発刊について、2019年末には企画書を作り、彩流社の編集者の出口綾子さんに渡していました。2020年1月には出口さん、稲村さん、高澤さんと私で話し合いの場を設定しました。すぐに、出版に向けてGOサ

インが出たのですが、私に課せられたワンデーポートの 20 年の振り返りが書けず、2020 年末頃には、私から一旦ストップすることをお願いしました。ワンデーポートの日常の業務の中で、文章を書くというのはそれなりの覚悟や気持ちの切り替えが必要で、なかなか一歩を踏み出すことができなかったのです。

それでも、ようやく 2021 年の 7 月頃に執筆を再開することができました。まずは、2 章、3 章を形にすることを私の中で目標にしました。幸いなことに、皆様の話を伺いながら、1 章の内容のイメージが膨らみました。2 章と 3 章がまとまりはじめた 2021 年 11 月頃、ようやく第 1 章に取り掛かり、3 ヶ月くらいで悪戦苦闘しながら（どうにか）書き終えました。その後、出口さん、稲村さんと高澤さんに校正をしてもらい、今回やっと一冊の本として世に出すことができました。

### 深刻になりすぎずに読んでほしい

ところで、今回の本には、つくば 100 キロウォークのことや、私がワンデーポートの入所者の影響を受けて、森高千里さんのライブに行ったときのことなど、唐突にギャンブルとは直接関係ないことを記しています（私の中では絶対はずせないエピソードです、笑）。今回のインタビューをお願いした宮永耕さんは（原稿をチェックした際）「いきなり 100 キロウォークなんだもんなあ」と笑っていました。編集者の出口さんは、楽しんでやめるというのがとても良いと思ったと感想を伝えてくれました。ギャンブルの問題を記すことはそれなりに深刻なことを伝えなければなりません、今回の本は、これまで出版された依存問題に関連する本の中では、いちばん深刻にならずに、希望を持ってもらえる内容になっていると思います。

ワンデーポート通信をお読みの皆様にはすでに伝えてある内容も多く含まれますが、皆様にもこの機会に改めてこの本でワンデーポートの 22 年を振り返ってもらい、ご意見、ご感想をお寄せいただけないかと思っています。メールなどでお伝えいただければ幸いです。

彩流社の出口さんには、私の力のなさ、気まぐれさゆえ、たくさんのご心配をお掛けし、またお力をお借りしました。この場を借りて、お詫びとお礼を申し上げます。

## みさきまぐろキップで小旅行

A班 10人は5月2日に、B班 9人は翌日5月3日に、みさきまぐろキップを使い、三崎に行きました（2日にわけた理由は、できるだけ大人数にならないためです）。

みさきまぐろキップは京浜急行電鉄一押しのお得な切符です。往復乗車券とバスのフリー乗車券、食事券とお土産券などがついて、横浜駅から3,480円です。この小旅行は、ワンデーポートの利用者の方々には、健康的なお金の使い方の練習



という意味もあります。今回は、まぐろ無国籍料理で有名は「くろば亭」に行き、まぐろカルビ焼きや船盛りなどを食べました。

満腹になった後は、歩いて劔崎灯台まで行きました。私たちA班は道に迷わず行くことができたが、B班は迷ったそうで、15km以上歩いたそうです。たくさん歩くことができて得しましたね、汗。

劔崎灯台からは房総半島が一望できますが、この日は天気もよく、伊豆半島まで見えました。三浦半島といえば、三浦大根ですが、この時期はキャベツが一面に栽培されていました（無人販売所では、1個100円で売られていました）。スイカやメロンを栽培している畑も目に留まりました。最近、どこに行っても畑が気になって仕方ありません、笑（中村）。



## 第2回よこはまラン報告

5月21日、2回目のよこはまランが開催いたしました。参加者は18名でした。ふだん自助グループに参加している方やパチンコ業界の方にも参加いただきました。

この日は不安定な天気で、途中土砂降りの雨になり、一部の皆様はコースを短縮して終わってもらいました。これからの季節は暑くなるので、天候にあわせて無理のないランニングを心がけたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております

次回は6月18日を予定しています（中村）。



### 2022年度通常総会のご案内

1. 日時 2022年6月12日（日曜日） 10時30分～12時00分
2. 場所 ワンデーポート  
(瀬谷区相沢 4-10-1 クボタハイツ 101)
3. 議題  
2021年度 事業報告及び活動決算報告  
2022年度 事業計画及び活動予算報告

## ワンダーポート利用案内

### 1. 入所カリキュラム

東京パチンコボランティア基金より、ワンダーポートへの新規利用者(入所者)を対象にした給付金助成制度(1人15万円給付)が実施されています。お気軽にお問合せください。

(1)生活づくりステージ (1ヵ月～) 内容規則正しい生活とミーティングやスポーツにより健康な生活を取り戻すことを目的とします。

(2)社会参加ステージ(生活づくりステージ修了後6ヶ月～1年)

昼間は仕事(アルバイト)をします。アルバイトで得た収入はワンダーポートで必要な費用にあてるので、ご家族の負担が軽減されます。資格取得の勉強などもできます。

ワンダーポートの寮では、2DK～3LDKのアパートで2人～3人での共同生活となります。

入所費用について

(1)寮費：55,000円/1ヶ月(共益費8,000円込)

(2)利用費：無料

(3)この他に、食費、イベント交通費などの実費が必要で、これらを合計すると約13万円～14万円/1ヶ月の費用がかかります。

(生活保護を受けている場合は、上記とは利用費が異なり生活保護の金額の範囲内で利用が可能です。)

### 2. 相談支援(無料)

個別にお話をおうかがいして、必要な助言を行います。

### 3. 通所支援(無料)

通所により、必要な支援を提供します。

### 4. 利用手続き、問い合わせ

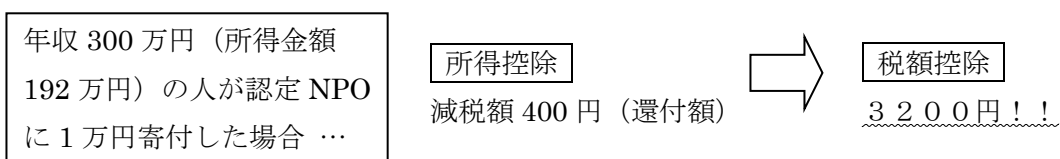
045-303-2621 までお気軽にお問合せください。

## 寄付のお願い

### 税制上の優遇について

認定 NPO 法人を取得しているため、個人、法人、相続人がワンダーポートへの寄付をした場合、税制上の優遇が受けられます。所得税、住民税の確定申告の際、ワンダーポートが発行領収書を添付して寄付控除を適用すれば、納税額がある場合には、その納税額を減らすことが可能となります。個人からの寄付の場合、以前は寄付金に応じて所得控除となりましたが、2011 年 6 月に成立した税制改正法案により、認定 NPO 法人への寄付で「税額控除」が可能になりました。

### 個人からの寄付の場合の所得税における【所得控除】と【税額控除】の比較例



### 法人からの寄付の場合

認定 NPO 法人へのご寄付は、一般の損金算入限度額とは別枠で損金算入ができます。確定申告でワンダーポートが発行する領収証を添付し、事業年度に支出した寄付金のリストを提出すると、損金算入分は法人税、地方税が課税されません。

**損金算入額** = 一般寄付に係わる損金算入限度額 +

認定 NPO に対する寄付金に係わる損金算入限度額

\*2011 年 11 月に成立した税制改正法案により、認定 NPO 法人向け特別枠が拡充されました。

領収証の発行については、毎年 1 月末までに前年分の寄付金一覧と領収証を発行いたします。法人については、決算月の関係で、領収書送付時期の変更をご希望の場合はワンダーポートまでご連絡ください。

#### 寄付の振込先

**郵便振替口座 00280-0-46026 特定非営利活動法人ワンダーポート**  
**三井住友銀行大和支店 普通口座 1247769 特定非営利活動法人ワンダーポート**  
銀行にお振込みの方は、電話か FAX かメールで、ご住所をお伝えください。

寄付をいただいた方にはワンダーポート通信をお送りしています。住所変更がございましたらお知らせください。なお、送付停止をご希望の方はご一報くだされば幸いです。

賛助会員は税制上寄付扱いになりますが、正会員の会費については税制優遇の対象になりません。

# 2022年4月利用者報告

## ① 利用者数

	男性	女性	合計
継続	38	2	40
新規	0	0	0
合計	38	2	40

## ② 入所者の年齢

10代	20代	30代	40代
0	4	2	2
50代	60代	70代	合計
0	0	0	8

内

入寮者 8名

---

## 家族個別相談のご案内（無料）

毎週金曜日

1回の相談日につき3件受付（10:30～、13:30～、15:30～）

第1金曜日 稲村厚(司法書士) 第2～第5金曜日高澤和彦(精神保健福祉士)

予約は1ヶ月前の午前10時から受付いたします。

コロナ感染拡大を考慮してオンライン相談にも応じています。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ TEL 045-303-2621 ワンデーポート

---

## よこはまラン

ギャンブルの問題をお持ちの方、その他の依存の問題をお持ちの方も支援者の皆様の参加もお待ちしております。

日時 6月18日（土）9時15分

集合 JR関内駅南口改札（オレンジ色のTシャツを目印にしてください）

参加費 無料（参加申し込み不要）

距離 山下公園、みなとみらい及び周辺をゆっくり10km走ります。

---

## 依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会（Zoom 勉強会）

6月は休止いたします。今後の予定についてはHPでご確認ください。

<http://problemgambling.namaste.jp/index.html>